1 単元名 「音読劇 おおきなかぶ 劇団さくらフォー(4)」

2 単元の評価規準 (特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 小学部・中学部)

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【学びに向かう力・人間性等】
<p>国3段階ア 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。</p> <p>図2段階ア 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い表し方を工夫してつくるようにする。</p>	<p>国2段階イ 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。</p> <p>図2段階イ 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。</p>	<p>国3段階ウ 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p> <p>図1段階ウ 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。</p>

3 教材のとらえ

本教材は、以下の2つのことから導いた。1つ目は、入学当初から平仮名、片仮名の読みができる児童がほとんどだった。特に、国語の教科書の音読がとても上手であり、ほとんどの児童が、内容を理解していたからである。2つ目は、支援が必要な児童のお世話をしたり、温かく見守ったりしながら、みんなでお世話を喜んでいる姿があったからである。そして、1年生で学習した教科書の内容であれば、全員が親しみやすく異学年や個性があっても楽しく参加ができ、活動がしやすいと感じた。また、絵は、観察のときは写真やイラストを見ながら、好きなものときは、何も見ずに描いたりできる。工作も好きである。その力を使って、お面を作り、楽しく音読劇ができたらいいと思い、この教材にした。劇をする際に、他者と関わる経験をし、社会を生きていく上で必要なコミュニケーション能力も育ててくれたら、大変有益であると感じた。今回のように、児童は、学習チックなことへのチャレンジが初めてで、教師にとっても、とても不安であるが、「おおきなかぶの音読劇」を通して、本学級の児童同士や教員と児童が、楽しみながら学ぶ喜びを味わえたらうれしい。

6 本時の指導案

本時の目標 「出番を考えて、助け合いながら、音読劇を楽しむことができる」

本時の学習 (7/7)

学 習 活 動	教 師 の 支 援 () は 2 年 T 用
<p>1、前時までの学びを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生たちがいる ・緊張するな ・挨拶ができたよ <p>2、音読劇をする</p> <p><u>頑張りたいことを発表する(順番は希望制)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表が苦手だな ・楽しみだな ・みんなの前はいやだな ・ドキドキするな ・発表は何番にしようかな <p><u>役割分担をする(希望制)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割は何にしようかな ・声の大きさだね ・ドキドキする ・緊張してきた ・声の大きさか・・・ ・うんとこしょ、どっこいしょ いうんだよな 	<ul style="list-style-type: none"> ○先生方に見てほしい気持ちの確認 ○進行は児童に任せる。 ○ホワイトボードの活用。 ○希望が重なってもよいことの確認。 ○声の大きさカードで、適切な声の大きさを確認する。 ○発表順を確認する。(1番にする。) ○登場人物から役割を導く。(かぶであることを伝える。) ○お面の配付。(破ってしまうので、支援員が預かる。脱いでしまうので、色ぼうしの上にお面を着ける。それでも脱いでしまうときは、無しとする。) ○「うんとこしょ、どっこいしょ」の練習。 ○教科書やお面は準備できているか。 ○友達を助けることを確認する。(支援員が支援する。出番のときは、児童が畑(椅子)まで連れてくる。) ○困っている友達がいる⇒気付かない⇒声掛けをする。 ○おじいさん役は、畑に立つ。(忘れていてもよしとする) ○クロムブックを用意する。⇒ONすること ○支援員が、音読を助ける。
<p>音読劇のはじまりはじまり</p>	
<p>4、録画した音読劇を見る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしいな ・できてるかな ・ぼくはどうかな <p>7、感想を言う</p> <p>8、振り返りを発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったことから書くのか・・・ ・文字の大きさだね ・うさぎの声の大きさだ 	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>言葉が表す事柄を想起し、演技で表現し、協力しながら劇を楽しむことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分や全体の姿を客観的に見る。 ○自分のことではなく、全体のことでもよいと伝える。 ○感想をもとに、頑張りたいことと関連付けながら振り返りをする。(大人と発表する。) ○発表の順番を確認。(重なってもよしとする) ○声の大きさや文字の大きさの確認。